

風しんから、あなた自身と周りの人を守るために 抗体検査及び予防接種（無料）を受けましょう



対象者： 1962（昭和37）年4月2日～1979（昭和54）年4月1日生まれの男性

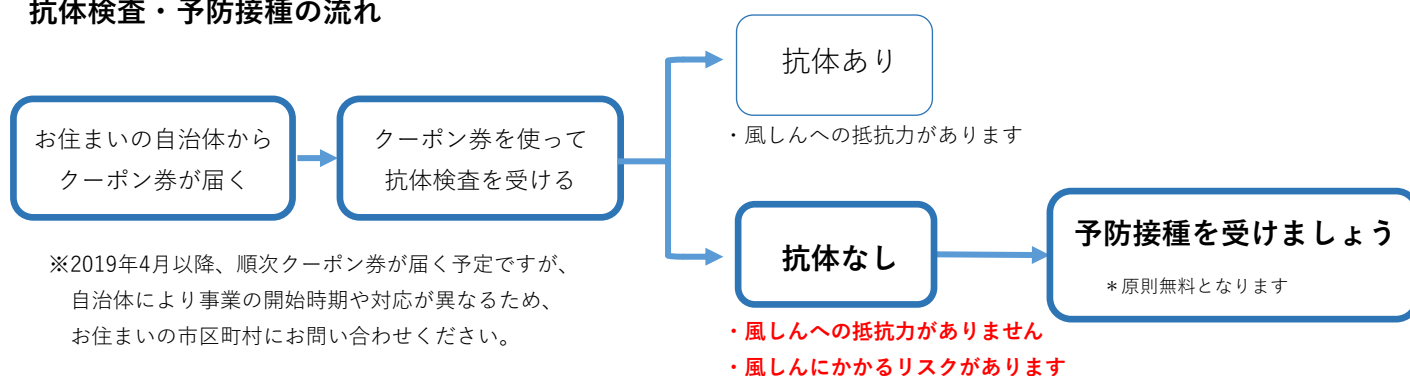
※この世代の男性は、定期接種を受けていませんので、これまでに風しんワクチンを打ったことがない可能性が高いです。

抗体検査の受け方：

対象の方には、2019年4月以降、市区町村からクーポン券が届きますのでクーポン券に従って抗体検査を受けてください。

抗体検査は、クーポン券を使えば、病院・診療所にて無料で受けられます。

抗体検査・予防接種の流れ



Q&A

Q：風しんって何？

A：感染者の咳やくしゃみ、会話などで飛び散るしぶき（飛沫）を吸い込んで感染します。

小児は発熱、発疹、首や耳の後ろのリンパ節が腫れて、数日で治ります。まれに高熱や脳炎になって入院することがあります。

成人は高熱・発疹の長期化や関節痛など重症化の可能性があります。

Q：風しんに感染すると何が問題なの？

A：電車や職場など人が集まる場所で、多くの人に感染させる可能性があります。

・妊娠早期の妊婦に風しんを感染させると、赤ちゃんが先天性風しん症候群になる可能性があります。

*「先天性風しん症候群」妊娠初期(20週以前)に風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性心疾患・白内障・難聴を特徴とする先天性風しん症候群をもって生まれてくる可能性が高くなります。

以上